

令和6年度全国学力・学習状況調査について

4月18日、全国の6年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。分水北小学校の6年生も対象で国語、算数を受験しました。

全国平均と新潟県平均は下記の表のとおりです。

<各教科の正答率>

	国語	算数
全国平均値	67.7	63.4
新潟県平均値	67.0	61.0



【当校の国語の結果から】

目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討する問題では、全国、県の平均を10ポイント以上上回りました。授業の中で、少人数での意見交換の場を意識して設けた結果であると考えられます。また、漢字を正しく使う問題についても、全国、県の平均を5~20ポイント以上上回っています。普段の漢字練習の成果が現れたと考えられます。この取組は今後も授業の中で継続していきます。

しかし、話し言葉と書き言葉との違いを答える問題や資料を活用して自分の考えが伝わるように表現を工夫する問題では20ポイント以上下回りました。挿絵を見て回答する児童が多かったようです。長文から必要な部分を読み取る力を身に付けられるように授業を工夫していきたいと思えます。

【当校の算数の結果から】

角柱の底面や側面に着目し、面の数とその理由について答える問題、円グラフの特徴を理解し、割合を読み取る問題では全国・県平均を上回っています。しかし、その他の項目では、すべての問題で全国・県の平均を下回りました。

理由として、文章の読み取りが不十分だったための誤答であることが大きいと考えられます。国語の学習による読み取る力の育成に力を入れ、読解力を高める必要があります。また、円の直径と円周の関係の理解が不十分でした。実物を使いどの部分とどの部分が重なるかを理解できるように指導していきたいと思えます。「変化と関係」においても理解が十分ではなく、比例や反比例について復習も取り入れて指導を継続していきたいと思えます。